

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	生活綴方教育の実践、理論の研究 子ども理解、自己理解、教師像の研究
所 属	人間発達 学部 子ども教育 学科
氏 名	北川健次
<p>【概要】</p> <p>日本の伝統的な教育実践である生活綴方は、自己の内面や自己を取り巻く世界を見つめて、生活実感や生活感情を綴ることによって、自己理解へとつながっていくと考える。小学校現場で日々子どもたちの綴った作品と出会い、子ども達と読み合い、彼らの生活を見つめてきた自己の生活綴方教育実践の経験を生かし、様々な子どもの綴った作品を読みながら、子ども理解を深め、現代の子どもを見つめ直し、教育実践の方向性をさぐる研究をしている。</p> <p>また、子ども理解をベースしながら、今日的な教育ニーズに応える教師とはどうあるべきか、歴史的にも学びながら、求められる教師像とは何かを追究している。 関連担当科目「教職論」</p>	
キーワード	子ども理解／生活綴方／教師像／教育実践